

公益財団法人慶長遣欧使節船協会

- (1) 情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡ補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見等

第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 6 年 6 月 1 日	市所管部署	石巻市 産業部観光政策課
-------	----------------	-------	--------------

2 法人名称等

法人名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会	設立目的・経過 慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与すること。
法人所在地	石巻市 渡波字大森 30番地 2	
設立年月日	平成 4 年 1 月 22 日	
代表者職・氏名	代表理事 一力 雅彦	

3 定款上の事業内容

(1) 慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
(2) 慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
(3) 船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
(4) 海事思想の普及・啓蒙
(5) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外 の出資・出捐者	市以外 の者の 出資・出捐額	市以外 の者の 出資・出捐割合
1,000,000 千円	500,000 千円	50.0 %	宮城県	500,000 千円	50.0 %
				千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	R3期末	R4期末	R5期末
常勤	0	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	11	11	11
うち市職員	2	2	2
うち市退職者	0	0	0
計	11	12	12
うち市職員	2	2	2
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員の状況

	R3期末	R4期末	R5期末
常勤	10	8	10
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	9	3	3
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	0	0
計	19	11	13
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	2	1	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する事を目的とする。
①慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
②慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
③船舶及び海洋に関する調査研究
④海事思想の普及・啓蒙
⑤宮城県の指定を受けて行う慶長遣欧使節船ミュージアムの管理運営
⑥石巻市の指定を受けて行うサン・ファン・パウティスタパークの管理運営
⑦その他この法人の目的を達成するための必要事項

第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期
慶長遣欧使節船 ミュージアム入館 料	円	目標 計画	1,980,000	0	5,648,000	20,595,000	20,925,000
		実績	1,342,000	0			
目標・指標の説明			令和4年11月1日よりミュージアムリニューアル工事により長期休館しており、令和5年度の入館料は0円で設定				
目標未達の場合の要因分析			目標入館料は0円で設定				

目標項目・指標	単位		令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期
慶長遣欧使節船 ミュージアム入館 者	人	目標 計画	17,500	0	17,272	63,000	64,000
		実績	10,469	0			
目標・指標の説明			令和4年11月1日よりミュージアムリニューアル工事により長期休館しており、令和5年度の入館者数は0人で設定				
目標未達の場合の要因分析			目標入館者数は0人で設定				

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①第30回サン・ファン祭り ②各種パークイベント ③第4回サン・ファン号を未来へつなぐコンクール	①新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、令和元年度以降、4年ぶりに制限のない通常開催となった。ミュージアム休館中のためパークのみの開催となったが、約10,000人の来場者があり賑わいを創出した。 ②パークにおいて、サン・ファン祭りを含め石恋まつりや渡波市民夏まつりなど6団体のイベントが開催され、延べ約16,000人の来場者があった。 ③例年、県内の小中学生を対象に実施していたコンクールを、第4回コンクールは全国の小中学生を対象に開催した。市博物館で表彰式を実施し、全応募作品149点を展示した。	令和4年11月1日よりミュージアムリニューアル工事に伴う長期休館ではあったが、他施設を活用した事業や隣接するパークでの各種事業を行うことにより集客が図られ、また、リニューアルオープンを見据えたPRに努めた。	①サン・ファン祭り…例年5月下旬に開催していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため秋季に延期し3年ぶりに開催した。来場者は約3,000人 ②おもてなし抽選会…宮城県制150周年記念観光キャンペーン期間中にオリジナルグッズ等が当たる無料抽選会を実施した。参加者は7,166人 ③GW特別企画…ゴールデンウィークに合わせ高校生以下を対象にお菓子のすくいどりを、また親子レクチャー企画「こいのぼり」「かぶと」等が作れるワークショップを実施した。 ④サン・ファン号を未来へつなぐコンクール…県内の小中学生を対象に「絵画部門」「デザインマーク部門」の2部門の全応募作品151点を展示した。
事業の公共性、公益性	展示等のリニューアル工事に伴う長期休館のため、市内の博物館等を利用した事業や隣接するパークでの各種イベント事業により集客を図るとともにPRに努めた。		

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①合同企画展 ②出張企画展示 ③館長歴史講座 ④サン・ファン友の会視察研修	①石巻市震災遺構門脇小学校・サン・ファン館合同企画展…東日本大震災で被災したサン・ファン館の被災状況や復興までの取組を紹介する企画展を石巻市震災遺構門脇小学校と合同で開催した。来場者13,037人 ②出張企画展示「三陸・牡鹿のトリビア展」…石巻港港湾感謝祭に出店し、三陸・牡鹿の風土をテーマとした企画展示を行った。 ③サン・ファン歴史講座…サン・ファン館平川館長を講師に、「徳川家康と大航海時代」と題して歴史講座を石巻市博物館と共催で実施した。来場者96人 ④サン・ファン友の会視察研修…友の会会員とサン・ファン館職員の交流を深めながら、牡鹿半島の魅力と歴史を学ぶ視察研修会を実施した。参加人数18人	令和4年11月1日よりミュージアムリニューアル工事に伴う長期休館ではあったが、他施設を活用した合同企画展や出張企画展示、館長歴史講座、サン・ファン友の会視察研修などの事業を行うことにより多くの来場者や参加者に対し慶長遣欧使節等の意義などをPRすることに繋がり、地域の文化・観光の振興が図られた。	①シンポジウム開催…「新しいサン・ファン館に期待するもの」について開催した。来場者52名 ②出張展示…牡鹿半島ビジターセンターが主催する催しにコーナー展として参加した。 ③ミニ企画展…石巻市博物館の常設展示室でミニ企画展を開催した。来場者422名 ④冬季出張講座…平川新館長を講師にサン・ファン号の呼び名について歴史背景を読み解きながら問題提起する講演会を開催した。受講者296名 ⑤館長歴史講座…平川新館長を講師に世界史を中心としたテーマで歴史講座を開催した。受講者252人
事業の公共性、公益性	慶長遣欧使節団の目的が、我が国の外交使節であるとの史実に加え使節派遣の2年前に仙台藩を襲った「慶長大津波」からの復興もその要因の一つではないかと考えることから、その慶長遣欧使節の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する調査研究・収集・展示を行うとともに海事思想の普及・啓蒙に努めた。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
------	-----------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B／S）	借方（科目）	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	流動資産	98,819,554	96,127,852	▲ 2,691,702	96,617,412	489,560
	うち 現金・預金	97,301,350	95,551,174	▲ 1,750,176	96,294,626	743,452
	固定資産	1,113,930,029	1,070,107,469	▲ 43,822,560	1,038,008,406	▲ 32,099,063
	(1) 基本財産	1,105,874,300	1,063,120,300	▲ 42,754,000	1,031,958,700	▲ 31,161,600
	(2) 特定資産	0	0	0	0	0
	(3) その他の固定資産	8,055,729	6,987,169	▲ 1,068,560	6,049,706	▲ 937,463
	資産の合計	1,212,749,583	1,166,235,321	▲ 46,514,262	1,134,625,818	▲ 31,609,503
	貸方（科目）	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	流動負債	19,729,770	13,047,970	▲ 6,681,800	13,082,955	34,985
	うち 短期借入金	0	0	0	0	0
	固定負債	0	0	0	0	0
	うち 長期借入金	0	0	0	0	0
	負債合計	19,729,770	13,047,970	▲ 6,681,800	13,082,955	34,985
	正味財産	1,193,019,813	1,153,187,351	▲ 39,832,462	1,121,542,863	▲ 31,644,488
	指定正味財産	1,105,874,300	1,063,120,300	▲ 42,754,000	1,031,958,700	▲ 31,161,600
	うち 基本財産への充当額	1,105,874,300	1,063,120,300	▲ 42,754,000	1,031,958,700	▲ 31,161,600
	うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0
	一般正味財産	87,145,513	90,067,051	2,921,538	89,584,163	▲ 482,888
	うち 基本財産への充当額	0	0	0	0	0
	うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0
	負債・正味財産の合計	1,212,749,583	1,166,235,321	▲ 46,514,262	1,134,625,818	▲ 31,609,503

正味財産増減計算書	科目	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	▲ 4,734,342	2,921,538	7,655,880	▲ 482,888	▲ 3,404,426
	経常増減の部	▲ 4,662,342	2,993,538	7,655,880	▲ 307,826	▲ 3,301,364
	経常収益	194,256,941	174,114,121	▲ 20,142,820	134,053,465	▲ 40,060,656
	経常費用	198,847,777	171,120,583	▲ 27,727,194	134,361,291	▲ 36,759,292
	評価損益等計	▲ 71,506	0	71,506	0	0
	経常外増減の部	▲ 72,000	▲ 72,000	0	▲ 175,062	▲ 103,062
	経常外収益	0	0	0	0	0
	経常外費用	72,000	72,000	0	175,062	103,062
	一般正味財産期首残高	91,879,855	87,145,513	▲ 4,734,342	90,067,051	2,921,538
	一般正味財産期末残高	87,145,513	90,067,051	2,921,538	89,584,163	▲ 482,888
	指定正味財産増減の部	▲ 22,563,494	▲ 42,754,000	▲ 20,190,506	▲ 31,161,600	11,592,400
	指定正味財産増減額	▲ 22,563,494	▲ 42,754,000	▲ 20,190,506	▲ 31,161,600	11,592,400
	指定正味財産期首残高	1,128,437,794	1,105,874,300	▲ 22,563,494	1,063,120,300	▲ 42,754,000
	指定正味財産期末残高	1,105,874,300	1,063,120,300	▲ 42,754,000	1,031,958,700	▲ 31,161,600
	正味財産期末残高	1,193,019,813	1,153,187,351	▲ 39,832,462	1,121,542,863	▲ 31,644,488

（※）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

キャッシュ・フロー計算書（C/S）	区分	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	事業活動によるキャッシュ・フロー	4,105,421	▲ 23,853,994	▲ 27,959,415	▲ 15,367,095	8,486,899
	当期一般正味財産増減額	4,662,342	2,993,538	▲ 1,668,804	▲ 410,888	▲ 3,404,426
	キャッシュフローへの調整額	22,078,079	15,906,468	▲ 6,171,611	16,205,393	298,925
	指定正味財産増加収入	▲ 22,635,000	▲ 42,754,000	▲ 20,119,000	▲ 31,161,600	11,592,400
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	投資活動によるキャッシュ・フロー	9,859,795	22,103,818	12,244,023	16,110,547	▲ 5,993,271
	投資活動収入	11,722,745	22,124,268	10,401,523	16,130,997	▲ 5,993,271
	投資活動支出	▲ 1,862,950	▲ 20,450	1,842,500	▲ 20,450	0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	0	0
				0		0
				0		0
				0		0
	現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
	現金及び現金同等物の増減額	13,965,216	▲ 1,750,176	▲ 15,715,392	743,452	2,493,628
	現金及び現金同等物期首残高	92,660,818	106,626,034	13,965,216	104,875,858	▲ 1,750,176
	現金及び現金同等物期末残高	106,626,034	104,875,858	▲ 1,750,176	105,619,310	743,452

（※1）支出は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

（※2）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分		令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）		0	450,000	450,000	0	▲ 450,000
	事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	0	0
	管理費補助金（交付金・助成金・負担金）	0	450,000	450,000	0	▲ 450,000
委託料及び指定管理料		39,491,019	40,000,000	508,981	40,000,000	0
借入金（期末残高）		0	0	0	0	0
短期借入金		0	0	0	0	0
	長期借入金	0	0	0	0	0
出資・出捐（期末時）		500,000,000	500,000,000	0	500,000,000	0
債務保証額（期末残高）		0	0	0	0	0
損失補償額（期末残高）		0	0	0	0	0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

令和4年11月1日よりリニューアル工事に伴い長期休館となり、収支が減少した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
流動資産	現金預金	743,452円増	年度末が土日のため、未払金調整による増額
	商品	110,677円減	休館に伴う商品仕入れの減少
固定資産	投資有価証券	31,161,600円減	期末時価評価額の減少

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

令和4年11月1日よりリニューアル工事に伴い長期休館となり、指定管理料や入館料などの収入が減少し、保守管理等委託費などの支出についても減少している。また、前年度退職した常勤職員等の給与等と、新規採用職員の給与等との差額により人件費が増加している。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目			変動内容	変動要因
経常収益	事業収益	指定管理者 事業収入	35,247,000円減	休館に伴う指定管理料の減額
経常費用	事業費	給料手当	2,574,343円増	職員の退職補填等による増額
	事業費	委託費	20,177,365円減	リニューアル工事に伴う保守管理料の減額

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

投資有価証券（国債等）の評価額が年々減少傾向にあるが、今期は期末時価評価額の減少額が縮小した。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
事業活用によるキャッシュフロー	基本財産増加収入	11,592,400円増	期末時価評価額の減少額が縮小

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
指定管理料	40,000,000円	サン・ファン・パウティスタパーク管理運営費

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

担当部署名：産業部観光政策課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（１）中間的な経営目的・事業計画

令和4年11月からの、宮城県による復元船のリニューアルに伴う慶長使節船ミュージアムの長期休館により、令和5年度分のミュージアム入館料収入目標を0円にて設定していたことはやむを得ないと思う。そのような中でもパークを活用した各種イベントを定期的に開催し、交流人口の拡大に尽力していた点は評価出来る。

（２）主要事業の成果、課題

主要事業の1つであるサン・ファン祭りは新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり制限の無い開催が出来たことから、ミュージアム休館中にもかかわらず約10,000人の入込があり、前期よりも大幅な来場者数の回復があった。他にも地元団体が主催するイベント等にも協力し、休館中の枠にとられない施設の活用を推進した。また従来は県内小中学生を対象として実施していた絵画作品コンクールを全国の小中学生にまで参加対象を拡大し継続実施したことも、施設PRや慶長遣欧使節文化の継承、啓発に寄与したものと思われる。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（１）貸借対照表

前期との比較において、貸借対照表内訳表による収益事業等会計部門のグッズ販売、公益目的事業会計部門のミュージアムにおける一般正味財産の減が大半を占めるかたちで、前期から減少となっているが、令和5年度中のミュージアム休館が起因しているものと判断できることから、問題はないと思われる。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

リニューアル工事に伴うミュージアムの長期休館により、宮城県指定管理者事業収入及び入館者収入が減少したが、前期から引き続きアテンダント等職員分の人件費削減の継続や、施設設備管理委託料経費の削減に努め、経営健全化が図られている。

(3) キャッシュフロー計算書

前期との比較において、キャッシュ・フローへの調整額に増額が見られ、指定正味財産増加収入のマイナス幅が減少となったが、リニューアル工事による通年休業による入場料等の収入減額を踏まえると止むを得ないものと判断出来る。また現金及び現金同等物の期首残高に減額が見られたが、同期末残高は増額に転じているので、引き続き経営健全化に努めていただきながら、通常営業再開後の業績好転となるよう注視していきたい。

(4) 市による財政・金融支援等

石巻市サン・ファン・パウティスタパーク指定管理料として支出している金額であるが、適正価格であるかどうかの是非検討も含め、適正かつ効果的・効率的な運営に努められるよう、指定管理者と協議を密に行い、引き続き共同して施設の活用、運営指導を行っていきたい。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事跡並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供し、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する目的を果たす上においても、市民が参加しやすい企画・イベント等の創意工夫を重ね、ひいては入館者数の増加につながるよう期待したい。また、慶長使節船ミュージアムのリニューアルに伴い、海外との交流を行っていた歴史的背景を後世に伝え続ける意味でも、市民、国内のみならずインバウンド観光客向けのハード面・ソフト面での充実を図り、交流人口の拡大に寄与することを期待する。また、体験コンテンツ等の開発により観光施設のみならず、併せ持つ学習施設としての側面を最大限に活用することにも期待し、市街地と半島部の中間点に位置している視点からも、地域の拠点施設となるよう、運営体制の強化にも期待する。